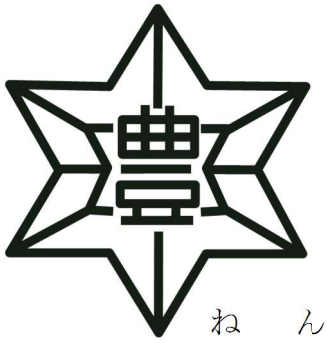


2021年度

学習・評価の手引き

1年生

～目次～

学習・評価の手引きとは　・・・p. 2

保護者のみなさまへ　・・・p. 2

すべての授業にかかわること・・・p. 3

各教科より　・・・pp. 4-13

評価方法について　・・・pp. 14-15

～学習・評価の手引きとは～

この冊子では、各教科の先生が、「授業への取り組み方」、「学習方法」、「評価」（全教科まとめて最後に記載）について説明しています。授業は学校生活の多くの時間を占めています。各教科の授業に積極的に取り組み、自分の力を伸ばしてください。授業で学習した内容を身につけるためには、授業以外での学習も必要です。マラソン選手が、長い距離を走ることができるのは、毎日、走るトレーニングをしているからです。学習も同じです。毎日、学習する習慣を身につけると、集中力が続くようになります。日々の努力は「なりたい自分」になる第一歩です。

保護者のみなさまへ

①「中学校では、宿題がないのですか」というご質問を受けることがあります。中学校にも宿題はあります。ただし、小学校とは異なり、提出（教員が点検・評価する）までの期間が長く、一度に提出する量が多くなる傾向があります。そのため、計画的な学習が必要になります。

②豊川中学校は、中間テスト・期末テストの範囲・提出物一覧を、原則、2週間前に配布いたします（休日や行事等の関係で、多少の前後はあります）。配布後に、豊川中学校メールマガジンでもお知らせしますので、ご家庭でも、テストに向けた家庭学習と課題提出へのお声かけをよろしくお願いいたします。

～すべての授業にかかわること～

1、生活のリズムを大切にしよう。

①早寝早起きをこころがけよう。
②食事をきちんととろう（脳はエネルギーを多く必要とします）。
③持ち物・提出物は前の日に準備しよう。

2、積極的に授業にとりくもう。

授業の準備	学びのルール
① 授業の準備をしてから休憩する ② チャイム着席をする ③ 服装をととのえる ④ あいさつをしっかりする ⑤ 最初の指示をしっかり聴く	① 取り組んでわからないときは、班の人に「ここどうするの？」ときく ② きかれたら、ていねいに説明する

授業では、わからないことがあるのはあたりまえです。人には得意・不得意があります。授業の準備と学びのルールを大切にして力を伸ばしましょう。

3、家庭学習の習慣をつけよう。

① 必ず、宿題（提出物）に取り組もう。
② 集中できる環境づくりを意識しよう。
→テレビや動画を見ながらの学習は、記憶に残りにくい。
③ 毎日、学習しよう。
→宿題がなくても、学習ノートを使って学習しよう。
④ 自分にあった学習の方法を見つけよう。
→学習方法がわからないときは、教科の先生や仲間に相談しよう。

1年生　国　語

1．教科書を繰り返し音読する。

予習としても、復習としても、テスト勉強としても、とても有効です。

2．漢字テストを目標に、漢字を覚える。

テストは読み１０問、書き１０問。試験範囲は事前に連絡し、宿題で出ます。学習ノートも使いましょう。漢字とともに、読みかたも覚えましょう。漢字は高校入試でも必ず出題されるので、しっかり覚えていきましょう。
また、宿題を家庭でやることは基本です。学校で休み時間にあわててやっても、それは頭には入りません。（その場だけの記憶になって、定着しません。）

3．プリント類の整理

ノートのプリントはノートに貼る、ファイルのプリントはファイルにとじて、なくさないようにしましょう。定期的にノート提出があります。テスト前の復習にも使います。名前を書くことを習慣にしましょう。

4．読書をする。

国語力の基本は文章を読むことです。小説や新聞など、文章をたくさん読んでください。それが自分の力になります。

5．授業に積極的に参加する！

授業での課題に真剣に向き合い、授業中に自分で考え、他の人の考えを聞くことを、積み重ねることで力がついていきます。

テスト前勉強では

1　漢字学習帳を使って、漢字を覚える。
2　授業プリントを見直す。（テスト範囲の練習プリントなども配ります。）
3　教科書の本文を覚える。（内容を頭に入れる。）
4　古文や俳句･短歌は必ず覚える。

他にもやり方はいっぱいありますが、何からやっていいか分からない人は、とりあえずこれだけはやりましょう。一緒にがんばっていきましょう。

1年生 社会科

1、授業を大切しよう。

・先生の話や友だちの意見をしっかり聴こう。
・自分で積極的に調べ、わからないときは班の人に「ここどうするの」ときこう。
・プリントは必ずファイルにとじよう。

2、授業の準備をしよう。

・前の日に、持ち物・宿題を確認しよう。
・休けい時間に、授業の準備をしよう。

☆地理：5点セット(ファイル・教科書・地図帳・地理のワーク・色鉛筆)

☆歴史：4 点セット(ファイル・教科書・歴史のワーク・色鉛筆)

＊自分や友だちと調べたり、考えたりするので、忘れ物があると、自分・友だち・先生のみんなが困ります。準備してください。

3、自主勉強もしよう。

・社会科は特に復習が必要な教科です。練習問題や問題集を何度も解こう。

①まず解いてみよう。
②少しずつ答え合わせをしよう。
③わからないところを問題集の説明・解説や教科書で調べよう。
④それでもわからないところは印をつけて友だちや先生に質問しよう。
⑤くりかえし取り組もう(まずは言えるようにして、次に書けるようにしよう)。
⑥勉強した内容を、わかりやすく人に説明してみよう。

4、テストについて

・テストは、授業の内容・教科書・ワーク(問題集)、時事問題から出題します。

＊教科書や授業で勉強した言葉を漢字で書けるようにしよう。

5、社会科が得意な人、苦手な人へ。

・社会科に関係するテレビ番組を見たり、本を読んだりしよう。
・ニュースを見たり、新聞を読んだりしてみよう。

＊歴史が苦手な人は、図書館で、日本の歴史の漫画を借りて読んでみよう。

1年生　数学

数学の力をつけるためのポイント



① 授業を大切にする

☆ 忘れ物をしない。

☆ 説明を聴くときと、班で授業プリントを仕上げるときの区別をつける。

授業の3点セットは《目・耳・心》！しっかり説明を聴こう。授業プリントは、班で協力して理解しながら仕上げましょう！

☆ わからないことは質問する。

説明を聞いてわからなかったことはそのままにしないで、班の人や先生にきいてその日のうちに理解することが大事！

② 家庭学習をがんばる（復習を中心に！）

☆ 宿題を必ずする。

授業で習ったときには分かっているつもりでも、何もしないでいると時間がたてば忘れてしまうものです。宿題はその日に習ったことをもう1度復習するためのものです。必ず自分の力でやりましょう。

☆ リピートの習った範囲の問題を解く。

解答を見ないでまず自分の力で解いてみる。結果よりも途中の考え方や計算が大切。やった後はすぐに答え合わせをする。（せっかくやっても、やりっ放しでは、自分の間違いに気が付かない。）間違えたものはすぐにやり直して、どこで間違えたのかを確認しましょう。

☆ 自主勉に取り組む。

さらに自主的に学習をしよう。学習ノートに、学校で学習をしたことをもう 1度整理したり、教科書の問題をやることも大切です。テスト前には自主勉プリントを用意するので、活用しましょう。

1年生　理科

0．科学を意識する（心構え）



生活の中には、たくさんの科学が溢れています。素朴な疑問や不思議に思う事が、理科では大切な力です。理科では、たくさん実験をしようと思っています。楽しく前向きに取り組んでください。どうしてこの結果になるのかを考えたりします。日ごろから「どうして？」と疑問に思ったり、その疑問について調べたりしてみましょう。

1．今までの内容も併せて振り返る。

中学校で習う理科は、多くが小学校の理科で習ったことを、もう少し専門的に習うのです。習ったことを使って、より深く学ぶようになります。今習ったことは、昔習ったことに繋がっていることがたくさんあります。習った時に、併せて復習をする癖をつけてしまいましょう。

2．暗記に頼らない

暗記が必要な単元や単語もあるのは事実です。ただ、みんなの独創的な発想や、経験からくる説明の方が理科には必要です。知識を知恵にかえて、説明する能力を発揮するみんなに期待しています。

3．わかりやすく説明をする

理科は、簡潔に説明できるようになることが最終目標です。なぜなら、説明できるようになるには、知識を自分に取り込んでいないとできないからです。そして、この行為が応用問題を解くカギになります。



☆テスト前の勉強方法☆

①授業ﾌﾟﾘﾝﾄ →②教科書→ ③白プリ＆ワーク

授業ﾌﾟﾘﾝﾄでテスト範囲を簡単に思い出しましょう。教科書に載っている単語を知っているかチェック。白プリやワークで、分かってる度チェック。

※　最後に…わからない所は、聞きましょう。
　　そうやって、少しずつわかる場所を広げましょう。

1年生　音楽

１．　授業について

「チャイム着席を守る」、「持ち物すべての準備を休み時間内にする」

「話をしっかり聞く」という基本的なところをまず大切にしよう。

また、配られたプリントは必ずファイルに挟んでいこう。

そして、一番大切なことは、<u>授業に意欲的に積極的に取り組んでいこう！</u>

２．　家庭学習・期末（筆記）試験対策について

試験では、教科書や配布プリントの内容を出します。プリントが配られたら、その都度取り組んだり、復習しておくと試験前に焦らなくて済みます。また、そのタイミングでわからなかったことは教科書で確認したり、積極的に質問するようにしよう。提出物は必ず期限を守ろう。

３．　実技試験について

授業内に歌唱や器楽の実技テストを行います。

<u>歌唱対策！</u>

授業中に口を大きく開けて歌う。自信がなければ小さな声でもOK!のどを歌うモードに慣らしていく、というのが大切です。そうすると、のどがみんなの声に共鳴して少しずつ歌えるようになっていきます。歌うときはにこやかに♪

<u>器楽対策！！</u>

授業中に繰り返し吹こう。難しいフレーズは、短くして、ゆっくり、繰り返し練習しよう。いきなり全部吹こうと気負わなくても大丈夫です。小さなことからコツコツと。
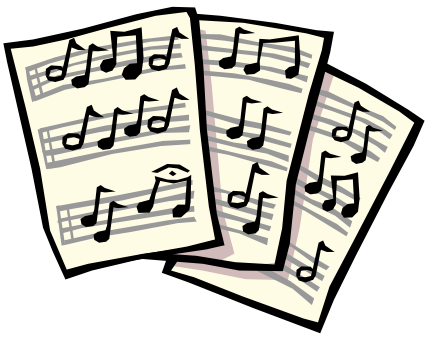
４．　最後に

テレビやラジオでやっている音楽番組にチャンネルを合わせてみよう。

色々なジャンルの音楽をたくさん聴くことで、世界が広がりますよ。

<u>持ち物</u>

・中学生の音楽　1
・中学生の器楽
・ファイル
・アルトリコーダー
・筆記用具



1年生　美術

1. 学習する内容

学習する内容は、大きく分けて２つです。①『主体的に描いたりつくったりする表現』を通して発想力や構想力を育んだり技能に関する資質や能力を育んだりする分野と②『鑑賞の活動』を通して美術作品や、生活や社会の中の美術の働きと美術文化についての見方や感じ方を深めたりする分野があります。１年生では週１．３時間授業があります。２・３年生になると週１時間になります。回数が少ない分、ひとつひとつの取り組みを大切にしてほしいです。

2. 授業を受ける上での心構えと家庭でできること

① 自分ならこうしようと追及する姿勢を大切に、積極的に授業参加しましょう。 たくさんの作品に触れることで、感性が豊かになります。友達同士で、または、家族で美術館・博物館にぜひ足を運んでほしいと思います。本物に触れることが大切です。画集を観るのもいいですね。また、身近な仲間の作品から学ぶこともできます。

② 作品完成までの過程を大切にして、その時間の目標を明確にしましょう。じっくり取り組むことは悪いことではありません。でも、期限は守って提出しましょう！

③ 授業への集中力と持続するための意志が大切です。そのためにも人の話を聴く力をつけましょう。

④ 準備物をしっかり用意しましょう！

⑤ 自分の作品、仲間の作品を共に大切にしよう！持ち帰った作品は、部屋に飾ったり、実際の生活の中で使ってみましょう。

3. 評価について

完成作品のみで評価するわけではありません。完成までの過程での評価（ワークシート・作品の制作過程など）・授業への取り組み（チャイム着席・忘れ物・美術ファイルなど）・ペーパーテストなども含み、総合評価とします。



4. 美術の教科でつけてほしい力

① よさや美しさに向かおうとする心

自分の思いを深めたり感覚を研ぎ澄ませたりしながら、よさや美しさを考えて、表したり感じ取ったりし、伝え合うことができるようにする。

② 失敗を乗り越える力

壁に当たっても次の方法を考え、挑戦する。制作をしながら乗り越えるたくましさ、考える力を高める。

1年生　保健体育

授業について

・実技では、体操服、体育館シューズ。保健では、教科書２冊、ノートを忘れず授業に参加しよう。
・１人１人の「やる気」が大切です。何事にも一所懸命取り組もう！
・協力や学び合いをしながらみんなで上達していこう。
・更衣を早くすませて授業に遅れないようにしよう。
・授業中は集中し、緊張感をもって活動し、ケガや事故に気をつけよう。
・苦手な種目や苦しいことから逃げずにがんばる力を身につけよう。
・見学の時は、保護者の方に生徒証明書の連絡欄に理由を記入し、印鑑を押してもらい、提出して下さい。
・原則、見学者も体操服に着替えましょう。
・見学の時は事前に先生に報告し、見学者カードを記入して、提出して下さい。

㊟ 体操服の下に長袖のアンダーウェアーの着用は認めません。

家庭学習について

・自分の健康管理をできるようにしよう！
　① 適度な睡眠をとる。目安は７時間～８時間。(早寝・早起き)
　② 毎朝かかさず朝食を食べよう。
　③ バランスの良い食事。(好き嫌いをなくす。間食しすぎない)
　④ 適度な運動をする。
・健康、スポーツに関するテレビを見たり、記事、本などを読んだりして自分の生活や体力つくりに役立てよう。

テストについて

・１学期末、２学期末、学年末の定期テスト（ペーパーテスト）があります。（予定）
・内容は、授業プリント、授業中の板書、教科書から出題します。
＊苦手な種目、得意な種目は人それぞれです。できないことは恥ずかしいことではありません。この１年で自分の得意種目を増やしましょう。

技術・家庭科

技術　物づくりを中心に学習します。

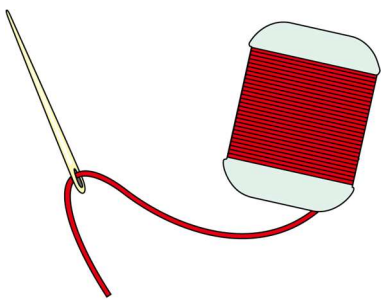
家庭　家族・家庭、衣生活、消費生活を中心に学習します。

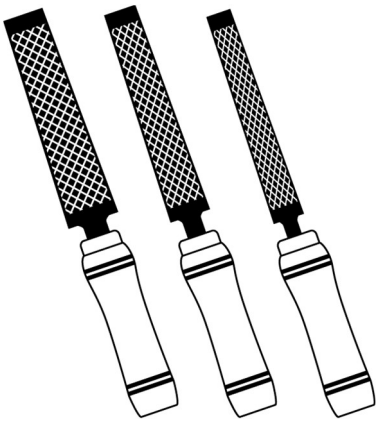
授業は教室で行う場合と、特別教室に移動して、実習を中心に行う場合があります。授業は集中して受け、忘れ物は絶対しないように気をつけましょう。（教科書など学校に置いておいてもよいです。）わからないことがあれば、周りにどんどん聴きましょう。

実習が中心の場合は、途中で諦めたりしないで、とにかく完成まで取り組むことが大切です。そして提出期限のあるものは、必ず期日を守って提出してください。また、実習をする時には安全に気をつけて、落ちついて作業してください。安全上問題があると判断した時には、一緒に実習ができなくなることもあります。必ず、指示に従って作業してください。また、利用する道具は大切にしてください。

家庭では、家の仕事の手伝い（洗濯・食器洗い・整理整頓・家族の世話・電気製品の整備・家具の修理など）をすすんで行い、家族の一員としての役割を果たしましょう。家庭科の授業で学んだことを家庭でいかしていきましょう。

また、テスト前には授業で勉強したことを復習しましょう。方法は、①-プリントをもう一度見なおして学習内容を確認する。②-実習を振り返り、作業の内容をもう一度思い出す。③-さらに作業の注意事項を思い出し、その理由も理解しておく。という3つのことがポイントです。





1年生 英語

英語は復習が大切！

①授業に集中　特にペアや班学習での音読練習を大切にしよう。
②学習ノートを中心に前向きな気持ちで家庭学習に取り組むことで
メキメキ英語力がアップします。

A： 授業編

① 先生の口元を見て、よく音を聞こう
・・・耳をすませて、どんな口のかたちで音が出ているのか観察しよう。

②くり返し、まねして言う練習をしよう
・・・単語でも文でも歌でも***まずは口まねから***スタート。

③教科書などの文を大きな声で何度も読もう・・・先生や音声モデルのあとについて大きな声で読み、***身体にリズムをしみこませる。***

④何度も書く練習をしよう・・・授業中ノートに英語を書く時は
心の中で発音しながら書いてつづりを覚える。書かないと覚えられません。

⑤まちがいを気にしないで表現しよう・・・*まちがうのは当たり前。*
ペアや班の活動でも、**英語を**はずかしがらずにどんどん使いましょう。
実際に使っていくのが英語力アップの基本です。

B：家庭学習編

① 宿題などをする時も授業を思い出し、単語・英文など
声に出して何度も繰り返しながら書く練習をしよう。

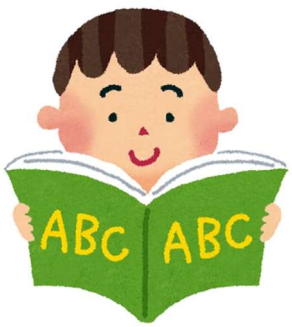
② 宿題は最低限の課題。さらに学習ノートを使って、学習を確実なものにしていこう！

例えば・・・
1）単語や文を***覚えるまで何回も練習する。***
2）授業で習った表現を使って***自己表現にチャレンジ***してみる
3）問題集でまちがったところをもう一度解いてみる。
4）授業で習ったことを***まとめる。***
5）教科書の英文を***もう一度自分で訳してみる・・・***などなど
（学習ノートについて詳しいことはプリントや授業で紹介しています）

学習ノートのいいところは、
★自分で「自分はここが弱い！」という課題を選んで取り組めるところ
★自分に合った分量を自分自身で決めて取り組めるところ
★前向きな気持ちで、楽しみながら取り組めるところ
★イラストや写真を使って、ノートを工夫して学習を楽しめるところ
★がんばればがんばるだけ結果が出て、英語力がぐんぐんついていくところ
★みなさんの勉強方法を見せてもらってアドバイスができること・・・
などなどたくさんあります！

③ チャンスを見つけて、生の英語にどんどん触れよう
・・・映画を英語（日本語字幕）で見てみる。洋楽を聞いてみる。
意外とわかる単語があるかも。
チャンスはたくさんあります。
自分の興味あるところからはじめてみましょう。

Let's enjoy English!!





1年生　評価方法について

1、各教科に共通すること

①通知表に記載される評定は1～5の5段階です。学年ごとの各教科の評定が、公立高校の特別選抜・一般選抜で利用されます（いわゆる「内申点」です）。

②評定は3観点の総合によって決まるしくみになっています。
例えば、「主体的に学習に取り組む態度」の観点は、授業への取り組みやふり返りなどで評価される傾向にあります。テストが高得点でも、課題が不充分であれば、評定は伸び悩むことになります。逆にテストで力を発揮できなかった場合でも、授業に熱心に取り組み、課題を頑張ることで、一定の評定が出るしくみになっています。なお、観点内での評価材料の比重は異なります（定期テストが授業内の小テストより配点が大きいなど）。

＊詳しくは学校説明会の資料をごらんください。

2、教科別観点ごとの評価材料

①国語

知識・技能	漢字テスト、小テスト（文法など）、定期テスト
思考・判断・表現	文章の読み取り、作文、詩、俳句などの創作、聴き取りテスト、スピーチ、音読、暗唱、発表、定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	宿題（漢字、長期休業中のプリントなど）、提出物、プリントの完成度 授業への取り組み

②社会

知識・技能	授業中の課題、小テスト、長期休業中の課題、定期テスト
思考・判断・表現	授業中の課題、長期休業中の課題、定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、授業中の課題、ワークなどの問題集、長期休業中の課題

③数学

知識・技能	小テスト・定期テスト
思考・判断・表現	小テスト・定期テスト、テスト直し
主体的に学習に取り組む態度	提出物、授業プリント、振り返り、テスト直し

④理科

知識・技能	小テスト、プリントの問題、実験や観察をしたときの姿勢、実験や観察に関した問題、定期テスト
思考・判断・表現	普段のプリントでの思考問題、定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、授業中のプリント、ワークなどの問題集、長期休業中の宿題、振り返りシート

⑤音楽

知識・技能	提出物、実技テスト、定期テスト
思考・判断・表現	提出物、実技テスト、定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、提出物、実技テスト

⑥美術

知識・技能	活動の様子、作品、ワークシート、定期テスト
思考・判断・表現	活動の様子、作品、ワークシート、スケッチブック、定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	活動の様子、提出物

⑦保健体育

知識・技能	実技テスト、授業プリント、各種プリント、定期テスト、単元テスト（予定）
思考・判断・表現	振り返りシート、各種プリント
主体的に学習に取り組む態度	授業の様子、授業ノート、各種プリント

⑧技術家庭

知識・技能	実習時作品、小テスト、定期テスト
思考・判断・表現	授業中の課題、作品、定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、プリントや課題、長期休業中の宿題などを時間内に提出すること、定期テスト

⑨英語
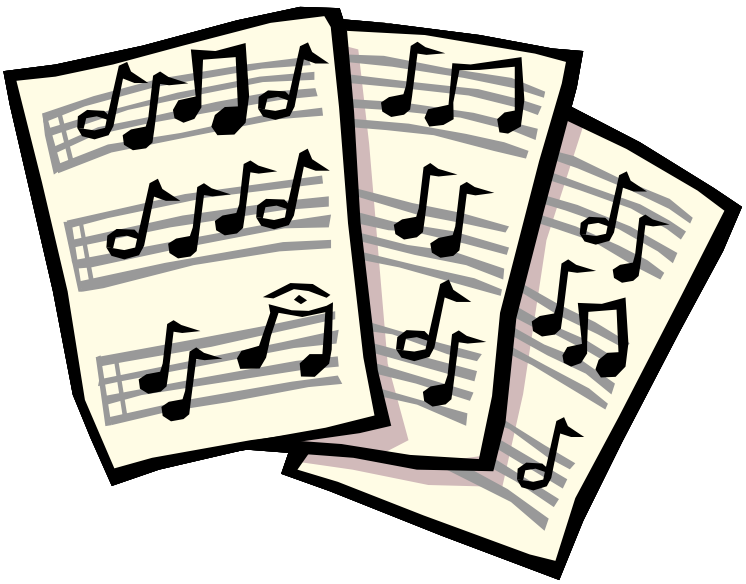
知識・技能	小テスト、 パフォーマンステスト、定期テスト
思考・判断・表現	パフォーマンステスト、 ワークシート、定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	・授業内での課題提出・宿題 各課題への取り組む姿勢から評価される小テストの結果 ・授業内での振り返り



